

大規模災害に備えた遠方自治体との「災害アライアンスに関する協定」の締結を

質問者 川 島 靖 弘

立川市は大阪府寝屋川市と、被災時の物資調達業務等を支援する「サテライト体制の確立」、発災直後から予め定めた必要物資を届ける「プッシュ型供給」、備蓄品の一部を共同で備蓄する「共同備蓄」の三つを柱とした災害アライアンスに関する協定を締結した。町においても、人口規模が近く、同時被災リスクの低い遠方自治体と同様の協定を結ぶメリットがある。このような先進的な連携手法を導入すべきと考えるが、町の所見を伺う。